

# 高齡化した鋼橋の残存耐力に関する報告会

構造物の維持補修技術研究会（RAMS）平成29年度・第1回定例講演会

構造物の維持補修技術研究会（RAMS）は、構造物の維持補修技術に関する諸問題を調査、研究、開発に参加、あるいは協力することにより、会員相互の技術知識の向上と親睦を図り、構造物の維持補修技術の発展に寄与することを目的に活動しています。

土木学会中国支部では、高齡化したインフラ構造物の維持補修技術検討委員会を設置し、中国地方の高齡化構造物の長寿命化に向けて、調査・診断・予測・対策の一連の維持管理フローにおける最新技術を調査するとともに、その実務への適用性、診断のための解析技術、長寿命化対策の新技术開発について検討しています。

平成27年度までの成果として、供用中の老朽化鋼トラス橋を主な研究材料として取り上げ、関連する維持管理技術に関する文献調査、現地調査、実橋載荷試験および全橋解析と耐力評価を実施しています。本報告会は、上記活動における主な成果を報告いたします。

下記のとおり、報告会を開催します。お誘いあわせの上、多数の皆様方にご参加くださいますように、お願い申し上げます。

## 記

主催 構造物の維持補修技術研究会（RAMS）、公益社団法人土木学会中国支部  
日時 平成29年6月23日（金）13:30～17:00  
場所 広島工業大学広島校舎 広島市中区中島町5-7 TEL 082-249-1251  
（本校舎ではありませんのでご注意ください）

## 【プログラム】

- 13:30～13:40 開会挨拶
- 13:40～15:10 プログラム（1）  
「社会インフラの現状と課題について考える」  
京都大学 名誉教授  
（一財）大阪地域計画研究所 理事長 渡邊 英一
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:50 プログラム（2）  
「高齡化した鋼プラットトラス橋における  
腐食損傷の特徴と残存耐力に関する実験・解析的検討」  
高齡化したインフラ構造物の維持補修技術検討委員会  
徳山工業高等専門学校 准教授 海田 辰将
- 16:50～17:00 閉会挨拶
- 17:30～19:30 交流会（於：同所1F、会費：5,000円/人）  
本報告会は（社）土木学会の継続教育（CPD）制度の認定プログラムです。  
JSCE17-0327 CPD単位：3.3ポイント  
（講演会終了後に参加証明書をお渡しします。受付でお受け取りください。）

定員 100名  
参加費 無料  
申込方法 参加は別紙申込書にてE-mailもしくはFAXで事務局までご連絡ください。  
極力まとめた申込みをお願いします。  
申込締切 2017年6月21日（水）  
問合せ先 公益社団法人土木学会中国支部  
〒730-0011 広島市中区基町10-3 広島県自治会館3F  
TEL：082-222-2376 FAX：082-222-2496  
E-mail：jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp



## 高齡化した鋼橋の残存耐荷力に関する報告会 会場案内

### 【会場】

広島工業大学広島校舎 5F 501号室  
広島市中区中島町5-7 TEL 082-249-1251

### 【交流会】

広島工業大学広島校舎 1F 会費：5,000円/人

